

デジタルカメラ固定用自助具の製作

1 相談内容

相談者がデジタルカメラ(以下、デジカメ)を固定せず、左手で持って撮影していることから、手ブレのため、きちんと撮れているのは数枚程度ということが多かったそうです。そこで、手ブレせずにデジカメできれいな写真を撮りたいと要望され、相談を受けました。

2 利用者プロフィール

10代女性、脳性まひによる体幹機能障害及び両上肢の著しい障害のある方で身体障害者手帳1級です。本人は左ききで、姿勢が少し前にズレてしまうことが多いようです。現在、中学校一年生(普通学級)で、両親、兄と一緒に住んでいます。

3 対応

使用中の車いすテーブル中央に穴が空いていたので、その丸穴を利用しました。本人が左手をあげてシャッターを押せる高さを測定して、デジカメ+木片の高さを決定しました。木片下部に丸棒を取り付け、上部にカメラを固定するネジと滑り止めシートを取り付けました。なおテーブル前の黒いバーがカメラアングルの邪魔にならないよう、高さに気をつけました。デジカメ撮影の際には、テーブルの丸穴へ木片下部の丸棒を差込んでから、デジカメ下部の三脚用穴とネジを合わせ、デジカメを回しながら固定します。また、この自助具を使わないときは簡単に取り外しできます。



デジカメ固定用自助具



デジカメによる撮影の様子

4 結果

本人は、問題なく使用することができました。その後、デジカメで手ブレすることなく、きれいな写真を撮ることができ、クラス学級の中で様々な行事があったときの記録係として活躍しています。ただし、その場で自由にカメラアングルを変えることができないので、それが今後の課題です。